

フィルコ真空管ラジオ、 歴史について

年代	機器等	世界	日本
1960	1963 年 フィリップスから「コンパクトカセット」を販売する。 1965 年 アメリカの発明家ジェームス・ラッセルが音楽用光学メディア・テクノロジーを発明 1966 年 日本 ソニーから『ヘッドフォンステレオ』が発売される。 1979 年 フィリップスが「コンパクトディスク」を発売する。(B:247) 日本 ウォークマン 1 号機「TPS－L2」を発売	1962 年 7 月 アメリカ 通信衛星「テルスター1 号」打ち上げし、欧米間のテレビ中継成功。 1966 年 アメリカで「AM」ステレオ放送の方式検討が始まる。 1967 年 1 月 日米間衛星通信営業開始。 1970 年 CATV の動きが活発になる。	1960 年 NHK と民放 4 社がカラー・テレビ本放送を開始する(東京・大阪)。(E:280)FM 東海(現 FM 東京)が民間初の FM 局として発足。 1962 年 3 月 日本テレビ受信契約 1000 万件突破する(E:280)。 1966 年 CD 標準化のための DAD 懇談会が発足する。(B:246) 1967 年 豊橋市図書館が向山に移転した。 1968 年 5 月 FM 東海で音声多重放送開始の実験放送開始。(E:281) 1970 年 4 月 FM 東海から FM 東京へ業務を移管し、放送を開始する。大阪音楽 FM 放送は開局。
1 9 8 0 ～	1980 年代後半に LP は市場から消えていった。 1980 年 CD(コンパクトディスク)が登場する。		
	1982 年 ソニー、日立、日本コロムビアから世界初の CD プレーヤーが発売。		ソニー、日立、日本コロムビアから発売された世界初の CD プレーヤー:当初「レコードよりも音質がよく、ノイズがないニューメディア」として扱われた。レコードと同じ商品の CD 版の価格はレコードよりも 2 割ほど高かった
	1983 年 日本 CD のカセットケースサイズを実現した「WM－101」④		
1990～	1991 年 Sony が MD を発表する。 1992 年 「ディスクマン ESP」(後の CD ウォークマン)を発売。 CD 1990 年代に急速に発展普及していったマルチメディ	MD は日本国外ではほとんど普及しなかった。音質が悪いというイメージを払拭できず。理由:MD 自体、ATRAC という非可逆圧縮音源を採用しているため。	1994 年

	ア・パソコンと結びつき、音楽をデータとして扱うCD、CD-Rが普及。(M:P10)		ウォークマン 15 周年記念モデルとして発売した「WM-EX」が大ヒット商品となる。(O)
2000～	2001 年 10 月 Macintosh 専用のデジタルオーディオプレーヤーとして iPod 発売。 2002 年 新型 iPod (第 2 世代) で Windows にも対応。 2004 年 iPod ミニ発売 2004 年 iPod フォト発売 2005 年 iPod シャッフル発売 (L:P118)	iPod の宣伝に「グッバイ MD」というキャッチコピーも盛り込まれた。(L:P106) 発売当初は電池の消耗・劣化が激しく、電池の交換費用も高額だったため、米国では電池交換費用を安くするよう運動やデモが起こされ、集団訴訟にまで発展。(O) 2008 年 9 月リーマンショックで経済危機	Windows との互換が可能になり、若い人たちを中心に爆発的に広がる。(N:P15) iPod が 2003 年に、iPod mini が 2004 年に、iPod shuffle が 2005 年に揃ってグッドデザイン賞を受賞。
2012			豊橋市図書館開館 100 周年記念行事 11 月 10 日 第 22 回 SP レコードコンサート
2013			1 月 15 日 豊橋市図書館創立 100 周年